

## 問1（憲法）

以下の事例に含まれる憲法上の問題点を取り上げ、論ぜよ。

国立大学法人Y大学医学部では、入学定員の一部について、学力試験と面接を組み合わせ、人物評価に重きを置いた入試を実施してきた。Xは50歳でこの試験を受験したが不合格となったため、得点等の開示請求をしたところ、学力試験の成績は十分合格可能な水準に達していたが、面接点が著しく低く不合格となったことが分かった。さらに、Xが面接の基準について問い合わせたところ、Y大学からは、面接では総合的な人物評価を行っているが、地域医療を長期にわたり支えることのできる人材を育てるという観点から、年齢を考慮している（合格者の年齢はおおむね40歳程度を上限とする。）という説明があった。

## 問2 (行政法)

次の設例を読み、以下の設問①～③に答えよ。

(設例)

A町の住民Xは、その長男B(当時4歳5月)を通園させるためにA町が設置運営するC保育園への入園申込みを行ったところ、Y町長から入園を不承諾とする旨の通知を受けた。不承諾の理由は、Bには障害があるため常時一定時間ごとに専門知識をもった職員が必要な措置を講じなければならないところ、そのような職員を配置することは困難、というものであった。Xは妻を2年前に亡くしてBとの二人暮らしであり、これまでBの面倒を見てくれていた近所に住むXの母も高齢のためBの世話ができなくなったことから、入園の承諾(本設例では、行政処分に当たるものとする。)を得るため、裁判で争うことにした。

### 設問①

Xは、仮の救済手段を用いるため、行政事件訴訟法が定めている「執行停止」と「仮の義務付け」の各要件を見比べてみたところ、(ア)「損害」に関する要件、(イ)本案(訴訟)に関する要件について、いずれも執行停止の方が緩やかであることが分かった。(ア)及び(イ)について、それぞれ両者の間にどのような違いがあるか、説明せよ。

### 設問②

そこで、Xは、不承諾処分の取消訴訟とともに執行停止を申し立てたところ、「申立ての利益がない」として却下された。なぜ、申立ての利益が認められないか、執行停止の三つの類型(処分の効力の停止、処分の執行の停止、手続の続行の停止)それぞれに即して答えよ。

### 設問③

Xは、結局、仮の義務付けの申立てを行うこととした。この場合、当該申立てが適法なものとなるためには、どのような本案の訴訟が提起されていなければならないか。可能性のあるものを全て挙げよ。

**問3**（政治学）

各国の議会の相違を見る上で、アリーナ型と変換型の二つの類型が用いられることがある。この類型を提起した人物の名前を示し、それぞれの類型がどのようなものであるかを説明せよ。また、日本の国会について、この観点から説明せよ。

#### 問4（経済学）

財市場において、売り手が多数な一方で買い手が1社もしくは数社であることは珍しくない。この場合、買い手は市場支配力をもつようになる。

以下の設問①～⑤に答えよ。

##### 設問①

買い手独占に近い市場の例を挙げよ。

##### 設問②

どのような場合に買い手の市場支配力が強くなるかを説明せよ。

##### 設問③

売り手が多数な一方で買い手が1社のみである場合に購入される財の量と価格を、売り手と買い手が共に多数存在している場合と図を用いて比較し、示せ。

##### 設問④

売り手が多数な一方で買い手が1社のみである場合における余剰を、売り手と買い手が共に多数存在している場合と図を用いて比較し、分析せよ。

##### 設問⑤

売り手と買い手が共に1社もしくは数社しかない場合に購入される財の量と価格はどのように決定されるかを説明せよ。